2023 年度　動物の行動と管理学会　総会報告

日時：2023 年 9 月 15 日（金）12:40-13:30
場所：酪農学園大学　中央館学生ホール（対面）

1）　2022 年度活動報告について、以下の事項を承認した。

①　役員会（リモート、対面およびメール審議）を開催した。

②　研究発表会、シンポジウムを開催した。

③　ISAE 参加助成の募集をおこない、1 名の会員に助成をおこなった。口頭発表者向け国際学会参加助成には応募がなかった。

④　学会ウェブサイトで学会に関する情報について更新するとともに、ML の運営をおこなった。

⑤　ニュースレターは、は 2022 年 10 月、2023 年 4 月、2023 年 6 月の 3 回発行した。

⑥　学会誌「Animal Behaviour and Management」の第 58 巻として、4 号（224 頁）を発行した。2022 年度における掲載論文数は、原著論文 9 編、短報 0 編、総説 1 編、資料 4 編、書評 2 編であった。2023 年度は第 59 巻として、3 号（126 頁）まで発行済み。2023 年度 8 月末時点の投稿論文数は、原著 6 編、短報 1 編、資料 2 編。8 月 17 日時点で昨年度 3 月からの Reject（取り下げ含む）は 0 編、掲載済みが 2 編、現在審査中が 7 編であった。

⑦　J-STAGE における ABM 誌（統合前の日本家畜管理学会誌・応用動物行動学会誌（第 44 巻～第 54 巻：論文記事数 669）および統合後の動物の行動と管理学会誌（第 55 巻～第 59 巻：論文記事数 44）の合算）のアクセス数および全文 PDF のダウンロード数は、2022 年の 10 月～11 月に大きな伸びを示し、それ以外は比較的安定的に推移している。

⑧　2022 年度の入退会者はそれぞれ 26 名と 16 名であり、2023 年 3 月 2 日時点での会員数（予算根拠）は 262 名（正会員 229 名　学生会員 28 名　法人会員 5 名）となった。

⑨　2022 年度一般会計決算、特別会計決算書（資料 1）および 2022 年度会計監査報告（資料 2）があった。また、監事は会計だけではなく学会業務全般も正確・適正に運営されている旨確認したことがわかるよう、監事監査意見書の文言を修正することとした。

2）　2023 年度事業計画について、以下の事項を承認した。

①役員の交代があり新役員が決定された（資料 3）。

②理事会および総会の開催

・　2023 年 4 月 3 日に役員会をリモートで、2023 年 9 月 14 日に役員会を酪農学園大学で、9 月 15 日に総会を酪農学園大学で開催することとした。

③研究発表会、シンポジウム、夏の学校、現地検討会の開催

・　2023 年 9 月 14 日～15 日に研究発表会を酪農学園大学と Zoom で開催することとした。

9 月 15 日に公開シンポジウム「ドローンからみた動物の行動と管理」を酪農学園大学と Zoom で開催することとした。9 月 13 日夏の学校を北海道クリスチャンセンターとウェビナーで開催することとした。9 月 16 日に現地検討会を札幌市円山動物園で開催することとした。

④国際連携、広報および学会誌

- 国際応用動物行動学会派遣等基金による ISAE2023 への参加助成を実施することとした。同様に、国際学会参加助成（口頭発表者向け）も募集することとした。
- 学会ウェブサイトおよび FB ページで学会についての情報を発信する。また、会員相互の親睦を図ることを目的として年 3 回(5 月、10 月、1 月)を目標にニュースレターを発行することとした。
- 学会誌「Animal Behaviour and Management」を第 59 巻として、4 号発行する。このうち、第 3 号については大会発表要旨を掲載し、冊子体として印刷する。

⑤会計

2023 年度一般会計予算および 2023 年度特別会計予算を資料 4 のように計上した。

3） その他

（1）総会資料、役員会資料、その他などの学会記事

今度、学会誌へ掲載する学会記事内容を以下の通りとすることが承認された。

1 号：学会記事なし。法人会員に冊子体郵送、一般会員は論文部分のみ JSTAGE で閲覧可。

2 号：学会記事なし。法人会員に冊子体郵送、一般会員は論文部分のみ JSTAGE で閲覧可。

3 号：講演要旨を含む号なので、学会記事として会費納入依頼を掲載（振込用紙同封）。法人会員、一般会員にも冊子体郵送。

4 号：学会記事として総会報告を掲載。法人会員に冊子体郵送、一般会員は論文部分のみ JSTAGE で閲覧可＋学会記事も PDF を ML 配信。

また、総会報告は会員以外誰でも確認できるように過去分も含めて HP に掲載することとした。

（2）ABM の発行日の変更

発行間隔を均等化するため、1 号を 2 月、2 号を 5 月、3 号を 8 月、4 号を 11 月（いずれも発行日は 25 日）と変更することが承認された。

（3）ABM の投稿論文の補助資料の掲載方法とその様式

次の通り承認された。

補助資料は、図、表、写真、文章、動画の掲載は可能であり、J-stage（電子付録）のみ掲載とする。投稿時は Word で作成し、J-stage では PDF で掲載。1 ページ目は表紙、2 ページ目以降データ（図、表、写真、文章）とする（資料 5）。著者が希望すれば、エクセルや動画（1 ファイル 50MB 以下）など PDF 以外の掲載も可。

（4）入退会処理方法

学会 HP に入退会申し込みを掲載し、対応窓口を庶務理事に一本化することが承認された。

(5) 会員・会計管理システム導入

持続可能な学会運営のため次の通りシステム導入が承認された。

株式会社ブランドコンセプトのアワード会員管理・参加登録システムを利用する。当学会の場合、年額 5 万円程度で利用できる点から、当分は収入増を計画しなくても良いため、大会参加費の徴収は当面見送る。ただし、収支のバランスを見て将来的に大会参加費を徴収する計画とする。ただし、その場合でも学生会員は引き続き大会参加費を無料とする。

(6) 大会発表におけるルール

発表者 1 名につき申し込みできる演題数は 1 題に限り、いずれの発表形式でも発表者は 1 名とする。また、これらを大会募集要項に明文化することが承認された。

資料１：2022 年度一般会計および特別会計決算

2022年度決算（案）

2023/2/28

項目	2022予算	収入(円) 2022決算	決算/予算 (%)		2022予算	支出(円) 2022決算	決算/予算 (%)
前年度繰越金	4,324,642	4,324,642	100	備品費	0	0	-
個人会費	1,016,000	1,028,000	101	消耗品費	5,000	0	0
法人会費	72,000	72,000	100	通信費	40,000	25,012	63
寄付金	-	0	-	会議費	0	0	-
雑収入	75,000	118,937	159	謝金	0	0	-
預金利子	20	22	110	雑費	20,000	0	0
				会誌発行費	750,000	949,687	127
				研究会・総会開催費	300,000	461,628	154
				シンポジウム開催費	100,000	40,874	41
				若手懸賞費	70,000	4,000	6
				予備費	4,202,662	0	0
合計	5,487,662	5,543,601	101	合計	5,487,662	1,481,201	27

収支差額　4,062,400

個人会員：　納入額：2020年度 ￥4,000、2021年度 ￥8,000、2022年度 ￥344,000、2023年度 ￥584,000、2024年度 ￥80,000、2025年度 ￥8,000
法人会員：　納入額：2021年度 ￥12,000、2022年度 ￥12,000、2023年度 ￥48,000
雑収入：　著作権使用料 ￥118,937

通信費：　レンタルサーバ料　￥17,160、ドメイン更新料　￥1,925、郵送・電報料　￥2,332、振込手数料 ￥2,475、印字サービス料 ￥1,120
会誌発行費：　冊子印刷代、発送手数料、発送料、J-STAGE掲載データ作成料
研究会・総会開催費：　大会会場費 ￥398,200、大会アルバイト雇用費 ￥63,428
シンポジウム開催費：　シンポジウム会場費（Zoom利用契約料、大会含む）￥29,700、シンポジウムパネラー謝金・旅費　￥11,174

動物の行動と管理学会　特別会計　2022予算

国際応用動物行動学会派遣等基金　(設立　2016/03/31、引継　2019/03/31、　当初 2,451,034円)

項目	収入(円)		支出(円)
前年度繰越金	2,301,345	研究発表者派遣補助	100,000
雑収入	20	事務費	1,000
合計	2,301,365	合計	101,000

2021年度末基金残高（計画）　2,200,365

動物の行動と管理学会　特別会計　2022決算（案）

2023/2/28

項目	収入(円)		支出(円)
前年度繰越金	2,301,345	研究発表者派遣補助	25,000
雑収入	20	事務費	100
合計	2,301,365	合計	25,100

2022年度末基金残高　2,276,265

動物の行動と管理学会　特別会計　2023予算（案）

国際応用動物行動学会派遣等基金　(設立　2016/03/31、引継　2019/03/31、　当初 2,451,034円)

項目	収入(円)		支出(円)
前年度繰越金	2,276,265	研究発表者派遣補助	100,000
雑収入	20	事務費	1,000
合計	2,276,285	合計	101,000

2023年度末基金残高（計画）　2,175,285

資料 2：2022 年度会計監査報告

2023 年 3 月 17 日

動物の行動と管理学会
会長　青山　真人　様

動物の行動と管理学会
監事　安江　健

監事監査意見書

2022年度動物の行動と管理学会　一般会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

2023 年 3 月 20 日

動物の行動と管理学会
会長　青山　真人　様

動物の行動と管理学会
監事　矢用　健一

監事監査意見書

2022年度動物の行動と管理学会　一般会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

2023 年 3 月 17 日

動物の行動と管理学会
会長　青山　真人　様

動物の行動と管理学会
監事　安江　健

監事監査意見書

2022年度動物の行動と管理学会　特別会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

2023 年 3 月 20 日

動物の行動と管理学会
会長　青山　真人　様

動物の行動と管理学会
監事　矢用　健一

監事監査意見書

2022年度動物の行動と管理学会　特別会計収支決算について、厳正に監査を行った結果、その執行は適正であり、提出の通り相違ないことを確認できた。

資料 3：役員案

役員一覧　原則、理事（会長および副会長は除く）は半数交代を想定				
		2021、2022年度		2023年度案
理事長		青山真人		青山真人
副理事長		竹田謙一		竹田謙一
		加隈良枝		加隈良枝
理事	総務理事	八代田真人		伊藤 秀一
		松浦晶央		松浦晶央
	大会担当理事	加瀬ちひろ		加瀬ちひろ
		田辺智樹		田辺智樹
		新村 毅		新村 毅
		リングホーファー　萌奈美		リングホーファー　萌奈美
	会計理事	多田慎吾		多田慎吾
		二宮茂		二宮茂
	編集理事	田中正之		入交 眞巳
		新宮裕子		新宮裕子
	広報理事	小倉匡俊		小倉匡俊
		伊藤 秀一		戸澤 あきつ
	庶務理事	小針大助		河合 正人
		塚田英晴		塚田英晴
	国際連携理事	深澤充		深澤充
		山梨裕美		山梨裕美
監事		安江健		八代田 真人
		矢用健一		矢用健一
広報委員（NL担当）		萩原慎太郎		萩原慎太郎
編集委員		新宮裕子（産業動物）		新宮裕子（産業動物）
		林 英明（産業動物）		林 英明（産業動物）
		河合正人（産業動物）		中嶋 紀覚（産業動物）
		入交眞巳（伴侶動物）		入交眞巳（伴侶動物）
		福澤めぐみ（伴侶動物）		福澤めぐみ（伴侶動物）
		川口真以子（実験動物）		川口真以子（実験動物）
		田中正之（展示動物）		田中正之（展示動物）
		伴 和幸（展示動物）		金澤 朋子（展示動物）
				小針 大助（展示動物）
		南 正人（野生動物）		南 正人（野生動物）
		高山耕二（野生鳥獣害）		高山耕二（野生鳥獣害）

資料 4：2023 年度予算（案）

2023年度予算（案）

項目	収入(円) 2023予算	2022予算	2023/2022 (%)		支出(円) 2023予算	2022予算	2023/2022 (%)
前年度繰越金	4,062,400	4,324,642	94	備品費	-	-	-
個人会費	1,028,000	1,016,000	101	消耗品費	5,000	5,000	100
法人会費	60,000	72,000	83	通信費	40,000	40,000	100
寄付金		-	-	会議費	-	-	-
雑収入	75,000	75,000	100	謝金	-	-	-
預金利子	20	20	100	雑費	20,000	20,000	100
				会誌発行費	950,000	750,000	127
				研究会・総会開催費	110,000	300,000	37
				シンポジウム開催費	450,000	100,000	450
				若手懸賞費	70,000	70,000	100
				予備費	3,580,420	4,202,662	85
合計	5,225,420	5,487,662	95	合計	5,225,420	5,487,662	95

前年度繰越金： 4,062,400円
個人会員： 257名 × 4,000円にて試算 2023年3月2日現在*会員数 *会費未納による会員退会処理後
法人会員： 5法人 × 12,000円（3口分）にて試算 2023年3月1日現在会員数
雑収入： 著作権使用料など
預金利子： 総合口座の利子

消耗品費： ファイル、封筒代など
通信費： サーバー使用料、郵送料など
会誌発行費： 冊子印刷代、発送手数料、発送料、J-STAGE掲載データ作成料（前年度の支出実績に基づき増額）
研究会・総会開催費： 大会経費（webツールの費用など）（今年度、会場費は無料）
シンポジウム開催費：企画（現地検討会、夏の学校も含む）に係る経費、シンポジウム演者（非会員）への旅費・謝金など
若手懸賞費： 2023年度優秀発表賞4,000円×5名、国際学会参加助成制度50,000円×1名にて試算
予備費： 各支出への予備、未設定項目への支出

資料 5：補助資料

＜1 ページ目掲載例：表紙＞

補助資料

表　題

著者 A 子[1]・著者 B 一郎[2]・著者 C 代[1]・著者 D[3]・著者 E[3]

[1]北海道立総合研究機構酪農試験場、086-1153　中標津町旭ヶ丘 7
[2]北海道大学大学院農学研究院、060-8589　札幌市北区北 9 条西 9 丁目
[3]酪農学園大学農食環境学群、069-8501　江別市文京台緑町 582

・本文記載の表題、著者名、所属とその住所を記載、
・英文の場合は英語表記、日本語の場合は日本語表記

<2 ページ目掲載例：データ>

・補助資料には表、図、高精細写真、文章、動画の記載が可能。掲載は J-stage のみであり、J-stage の「電子付録」機能を利用して掲載。

・投稿時は表、図、写真、文章はそれぞれ別々ファイルで Word 形式で作成し、J-stage では PDF に変換して掲載。

・表、図、文章、写真の体裁は、投稿の手引きに準ずるとし、図表と写真には補助資料表 1、2・・、補助資料図 1、2・・、補助資料写真 1、2・・とタイトルを入れる。

補助資料表1　哺育期間中の疾病の有無における2-10か月齢の増体量

(kg)	疾病あり		疾病なし		P値		AIC
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	疾病	経営主体	
夏生まれ							
冬生まれ							

・希望すればエクセルや動画など PDF 以外の形式で掲載することも可。

・ファイル 1 件につき最大 50MB。